

認定に係る研修実績

研修名	実施方法・内容	年度	回数	受講者
認定調査員研修(新規)	以下の(1)~(3)のすべて実施。4時間以上 (1)要介護認定等に関する基本的な考え方、(2)認定調査の実施方法、(3)事例検討	元	4	497
		30	3	565
		29	2	411
認定調査員研修(新規)臨時的	認定調査員要綱に則り臨時的に単年度運用。国eラーニングを使用。 (1)認定調査員テキスト2009、 (2)厚生労働省要介護認定適正化事業HP研修動画 ①「認定調査の基本的な考え方」講義動画、②「介護認定審査会の手順と特記事項の書き方」解説動画、 (3)認定調査員向けeラーニングシステム	4	通年	699
		3	通年	642
		2	通年	572
認定調査員研修(現任)	上記、(3)を含む必要な項目を実施。時間は特に定めず必要に応じ実施	4	2	1234
		2	2	196
		元	4	430
		30	4	533
		29	4	459
介護認定審査会委員研修(新規)	次の(1)~(8)実施。3時間以上 (1)要介護認定関係制度論及び介護認定審査会委員の基本姿勢、(2)要介護認定等基準の考え方、(3)介護認定審査会の手順、(4)事例検討、(5)効率的な運営の検討、(6)都道府県内等情勢の分析、(7)平準化に資する方策の検討、(8)その他	4	1	111
		3	1	260
		元	4	385
		30	2	194
		29	2	409
介護認定審査会委員研修(現任)	上記の項目、必要に応じて実施。時間は特に定めず必要に応じ実施	4	1	980
		3	1	468
		30	3	561
		29	3	647

認定に係る研修実績

研修名	実施方法・内容	年度	回数	受講者
介護認定適正化研修	次の(1)～(8)実施。3時間以上 (1)要介護認定関係制度論及び介護認定審査会の適正な運営、(2)要介護認定等基準の考え方、(3)介護認定審査会の手順及び介護認定審査会への関与、(4)認定調査の実施方法、(5)事例検討、(6)都道府県内等情勢の分析、(7)適正化及び平準化に資する方策の検討、(8)その他	4	1	87
		3	1	99
		元	3	205
		30	3	204
		29	3	206
認定調査員指導員研修	開催の都度、研修計画・内容を決定 元年度の研修内容は (1)要介護認定の適正化、(2)認定調査員の育成に向けて、(3)模擬審査会等	3	1	67
		元	1	78
		30	1	106
		29	1	125
主治医研修(都医委託)	次の(1)～(8)について、原則、講義方式により実施。なお、(1)～(5)を必須とし、(6)～(8)を必要に応じて行う。 (1)介護保険制度における主治医の役割、(2)要介護認定等の仕組みと基準、(3)介護認定審査会における審査判定の方法、(4)主治医意見書の具体的な記載方法、(5)特定疾病の診断、(6)実際の主治医意見書記載例に関する事例検討、(7)介護保険制度及び高齢者等に対する一般施策として利用できるサービスの概要、(8)その他都道府県等が主治医意見書記載にあたって必要と認める事項	4	26	613
		3	31	1092
		2	10	179
		元	24	438
		30	41	671
		29	47	844

調査員新規研修カリキュラム対比表

コロナ前(集合研修) 5時間5分	コロナ禍(臨時的取扱い) 想定6時間33分50秒
<p>1. 要介護認定に関する基本的な考え方(60分)都職員(元年度、以下同じ)</p> <p>(1)要介護認定の概要(30分)</p> <p>(2)評価軸から見た調査項目(30分)</p>	<p>1. 認定調査員テキストの各自読込み(想定165分)</p> <p>※1ページ1分換算</p>
<p>【認定調査員テキスト等による認定調査項目の解説・理解】</p> <p>2. アポイントの取り方と認定調査項目の解説(1群)(80分)青野講師</p> <p>3. 認定調査項目の解説(2群～5群、特別な医療、自立度)(125分)青野講師</p> <p><認定調査員の役割></p> <p>①正確な選択肢の選択と特記事項 = 正確な調査</p> <p>②伝わりやすい特記事項</p> <p>⇒一連の行為を『5W1H』で確認、“聞き洩らし”が減り自然に理解できる。</p> <p>特記事項に記載すべき内容が導かれる。</p> <p>参考「2-6排便」病院調査、看護師への聞き取り例ほか</p> <p>確認ポイント 調査項目のポイント確認(空欄穴埋め)</p>	<p>2. 厚生労働省要介護認定適正化事業HP研修動画(176分50秒)</p> <p>(1)認定調査の基本的な考え方(84分50秒)岩名講師</p> <p>①基本原則(25分1秒)</p> <p>②能力の項目(17分30秒)</p> <p>③介助の方法の項目(24分31秒)</p> <p>④有無の項目(17分44秒)</p> <p>(2)介護認定審査会の手順と特記事項の書き方(20分10秒)動画演者</p> <p>(3)eラーニングに収録されている動画(71分50秒)ナレーション</p> <p>①認定調査の基本的考え方(1)(8分25秒)</p> <p>②認定調査の基本的考え方(2)(12分9秒)</p> <p>③能力で評価する調査項目(9分12秒)</p> <p>④介助の方法で評価する調査項目(14分59秒)</p> <p>⑤有無で評価する調査項目(9分30秒)</p> <p>⑥平成27年度重点講座(17分35分)</p>
<p>4. 介護認定審査会における特記事項の活用方法(40分)都職員</p> <p>(1)介護認定審査会の流れ(DVD視聴含む)</p> <p>(2)特記事項の記載ポイント</p> <p>(3)eラーニングの紹介等</p>	<p>3. 認定調査員向けeラーニングシステム(想定52分)</p> <p>(1)初回アンケート(想定2分)※1問約10秒換算</p> <p>(2)全国テスト13(想定30分)※1問1分換算</p> <p>(3)初学者問題集(想定20分)※1問1分換算</p>